

水の浄化の方法 (うわずみ)

実験概要

泥水に塩を入れて1日置き、そのうわずみ液を鍋で蒸発させる。

実験の目的

泥水などのうわずみ液は安全に飲むことができるか。

実験材料

- 泥
- 塩
- ペットボトル(水道水)
- なべ
- コップ
- かき混ぜ棒
- スプーン
- 厚手のゴム手袋
- 安全めがね
- コンロ



実験手順

① 泥水を作る



泥水に、小さじ1杯分の塩を加えよくかき混ぜる。

②泥水を1日おく



泥が入らないように静かに移す。

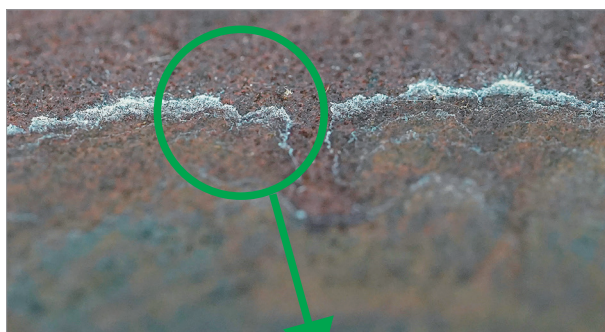
③真水を蒸発させる



やけどに注意。



④うわずみ液を蒸発させる



実験結果と実験からわかってほしいこと

- うわずみ液を蒸発させると、四角いサイコロ状の結晶のものが残った。
- うわずみ液はきれいに見えるが、有害な物質が水の中に溶けているので、安心して飲む水になっているとはいえない。

発展

- ★ デカンテーションでは、沈殿物と液体を区別することができるので、安全な飲み水から沈殿物を取り除くにはこの方法が有効である。しかし、上澄み液に溶けている物質は取り除けないので、それを取り除く方法を話し合ってみよう

